

行政経営プラン推進委員会議事録

日 時：平成26年8月21日（木）午後1時から午後5時30分まで

場 所：市役所7階 第3委員会室

出席委員：岩崎委員長、赤堀副委員長、野津委員、五十嵐委員、戸田委員、服部委員、
碓委員、堅田委員、小林委員

欠席委員：岩田委員

（服部委員、碓委員は午後1時30分までの参加）

1 議事について

（1）行政経営プラン行動計画について

① 介護福祉課

介護福祉課職員から資料に基づき説明があった。

25. ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯等の見守りサポート隊の推進

委 員：介護認定に当たり、市職員、介護認定員、ケアマネージャー、社会福祉協議会職員がそれぞれ訪問されるが、そのたびに同じ質問を繰り返されるので、訪問を1回にまとめられないか。

介護福祉課：訪問をまとめるのは難しいが、各者間での情報の共有に努める。

委 員：在宅医療の体制はどのようなか。

介護福祉課：介護従事者と医療従事者の連携は難しいといわれているが、現在、愛知県でモデル地区を決めて連携を模索しており、その結果を参考にしたいと考えている。

39. 介護保険料の収納率の向上

委 員：健康保険や公的年金から天引きするのではない、市が直接徴収（普通徴収）しなければならない人の数はどれくらいか。

介護福祉課：年金からの天引き開始前の人や年金支給額が年額18万円以下の人を対象で、約800人いる。このうち未納者は、約9%である。

委 員：目標として掲げるならば、必ず徴収できる天引きの人は含めず、普通徴収の収納率を掲げるのが適切と考える。

71. コミュニケーション支援の充実

委 員：市民が目の不自由な人に対して声かけができる環境づくり施策をしてほしい。

介護福祉課：環境づくりは重要であると認識しており、まず周りの人が認識しやすい

よう施策を講ずる予定である。

②健康課

健康課職員から資料に基づき説明があった。

6. がん検診申込み方法の改善

委員：記載している受診率の目標値は市の基準か、それとも国の基準か。

健康課：市の基準であり、国の基準は50パーセントである。なお、この受診率は、国民健康保険の加入者を対象として算定している。愛知県下でも、乳がんや子宮頸がん以外での受診率は低い。

委員：会場は保健センターだけか。

健康課：保健センターだけである。このことは受診率が低い理由の1つであると思うが、場所を増やすにしても、医師会や医療機関の協力が必要であり、岩倉市では難しい。

47. 教材費の徴収

委員：徴収額は200円だが、実際にかかる費用はいくらか。

健康課：1人分で400円前後であり、費用の約半分を負担してもらうことになる。

委員：無料にするよりも費用を徴収するほうが長続きすると思う。費用徴収を継続してほしい。

健康課：徴収することで辞めた人もいるが、200円が妥当であると参加者のうち7割の人が答えており、勉強するという意識が根付いている。

③消防本部

消防本部職員から資料に基づき説明があった。

27. 少年消防クラブによる防火PR活動

委員：消防学校へ体験入校しただけで、防火・防災意識が高まったと伝わるのか。せっかく発足できたのだから、消防学校へ行くだけでなく、他にも何か施策を考えてほしい。

委員：一般の人が知らない救急、災害の場面でのノウハウを市民に伝える機会を設けてはどうか。消防という存在の認知を高めることにもなると思う。

委員：署員の皆さんの体験を伝えると効果的かもしれない。

消防本部：検討する。

28. 救命知識・技術の普及・啓発

委員：受講者の技術はどうか。

消防本部：受講者をみていると優・良・可で分ければ、優は少ないが、良が多い。

委員：市内のAEDの数と、年間の稼働回数はどれくらいか。

消防本部：市内の公共施設、企業等に合計49台の設置を把握している。実際に使用する回数は、年間2、3回である。

委員：どうすれば受講できるか。

消防本部：個人ならば、毎月9日に消防署で開催している講習が適当であり、消防署で受付をしている。企業ならば、派遣依頼により救命士を派遣している。

委員：実績に記述している4,000人とは、延べ人数か。

消防本部：重複していない人数である。

委員：受講してからしばらく経つと、手順を忘れてしまわないか。

消防本部：2、3年ごとに再講習を受けてもらうよう案内している。

委員：確実に効果を上げていると思うので、さらにPRしてもらいたい。

④税務課

税務課職員から資料に基づき説明があった。

35. 負担の公平性を保つための課税対象の把握（土地の現況調査及び家屋の全棟調査） 関連質疑なし

36. コンビニエンスストア収納の実施

委員：固定資産税・都市計画税の収納が減少した要因は何か。

税務課：収納件数のカウント方法の違いによるものと思われる。納付書には、年間の全期前納のものと各納期別のものがある。納付書1枚ごとに1件とカウントするため、例えば年4回の納期の全期分を1度に支払う場合でも、前納の納付書を使用すると1件、納期ごとの納付書を使用すると4件となり、使用する納付書の種類によってカウントが変わる。平成24年度は前納納付書を送付せず、25年度は送付したため、利用件数が同じでも、前納納付書を送付した25年度のほうが、カウントが減少したと考えられる。

委員：実施効果を正しく見るには、その年度だけカウント方法が異なることを示すか、純粋な利用者数を算出する必要がある。

委員：コンビニならばどこでも納付が可能か。

税務課：少なくとも市内であれば可能である。

委員：市が収納業者に支払う手数料はいくらか。

税務課：収納1件当たり56円である。

委員：この項目の当初の計画はすでに達成できていると思われるが、今後やるべきことは何かあるか。

税務課：先進自治体で取り組んでいるクレジットカードによる収納を検討する。

委員：コンビニ収納とは別の収納手法になると思われる。新たな計画としてあげてもよいと思う。

委員：その場合、窓口へ行く人をどれだけ減らすかが目標になると思う。金融機関など窓口での収納の割合はどれくらいか。

税務課：納付全体が10,297件で、このうち43.2%（4,449件）が窓口である。

37. インターネット公売の実施

委員：公売は、既存の官公庁オークション等の場を使うのか。

税務課：そのとおり。

38. 市税の収納率の向上

委員：国民健康保険税の収納率が市税と比べて低いのはなぜか。

税務課：国民健康保険は市税と異なり、所得の有無にかかわらず保険税が発生するため、市税より徴収が難しい場合が多い。滞納繰越がある場合には、古い分から納付するため、どうしても未納分が残ってしまう。

委員：介護保険のように滞納者への給付制限はあるか。

税務課：滞納期間に応じて、通常の保険証（有効期間2年）の交付に代わり、短期保険証（有効期間6か月）の交付又は資格証明書の発行（その都度の発行）を行う。

委員：対象者はいるか。

税務課：約400人である。

委員：資格証明書の対象者は何人いるか。

税務課：約20人である。

委員：目標達成のために、より効果を上げられるような施策をお願いしたい。

委員：滞納する理由など、滞納者の解析をする必要がある。

⑤児童家庭課

児童家庭課職員から資料に基づき説明があった。

40. 保育料の徴収率の向上

委員：収納した金額はいくらか。

児童家庭課：平成25年度は、収納率100%の金額が約1億5千400万円で、未収納額が約13万円である。

委員：収納率の目標は100%でよい気がする。

委員：保育料の算定の見直しを検討してはどうか。

児童家庭課：保育料の額算定は、国の基準を上限として各市町が決定しており、上限額の65%程度の金額である自治体が多く、岩倉市も同水準である。今すぐの見直しはないが、平成27年4月からの子ども・子育て支援新制度の開始後の動向により、見直すことは考えられる。

62. みどりの家・希望の家の指定管理者更新の検討

委員：指定期間が5年間というのは適切な期間か。

児童家庭課：適切と考える。以前に5年間指定管理者を務めた団体からは、運営に慣れてきた2年目くらいから自分たちの色を出していけるという意見があった。

委員：稼働率はどうか。

児童家庭課：年間利用件数は、これまでと同水準を推移している。

⑥都市整備課

都市整備課職員から資料に基づき説明があった。

22. 道路・水路台帳デジタル化

関連質疑なし

41. 公共用物の使用料徴収

委員：徴収が可能となったのは、水路台帳のデジタル化をしたおかげか。

都市整備課：そのこともあるが、条例を整備できたことが大きい。

委員：徴収した使用料のうち、水路に係るものはどれくらいか。

都市整備課：ほぼ全てが水路に係るものである。

50. 雑草対策工法の改善

委員：防草シートを使用した箇所については、住民による草刈りを依頼する選択がなくなるのではないか。地域で管理したほうが業者に依頼するよりも安く済むことを説明するしかないのではないか。

都市整備課：住民協働による管理が実現していない大きな理由には、高齢者が多いことや、有償とした場合においてこれまで無償で草刈りをしてくれた人との整合性が

ないことがあげられる。

委員：シートの耐用年数は、どれくらいか。

都市整備課：10年として計算している。なお、3年前に設置したものは、現時点でも十分持ちこたえている。

委員：シートは、職員が張っているのか。

都市整備課：簡易なところは職員で行い、難しいところは業者に依頼している。

委員：いずれシートの撤去や張替えの費用もかかる。これらの要素も加味し、費用対効果の算定方法を精査した上で、正確な試算する必要がある。

5 1. 公園施設長寿命化計画の策定・推進

関連質疑なし

5 2. 橋梁長寿命化修繕計画の策定・推進

関連質疑なし

⑦会計課

会計課職員から資料に基づき説明があった。

2. 窓口サービスの向上

委員：コンシェルジュという名称は、市民にとってわかりにくいのか。

総務部長：名称がわかりにくいというご意見はいただいている。

5 4. 支給物品等の消耗品の見直し

関連質疑なし

6 8. 振込組戻訂正手数料の削減

委員：訂正件数は273件とのことだが、振込み件数は全部で何件か。

会計課：年間約6万件である。

委員：元のデータを訂正せずに流用すると、次に同じ間違いをする可能性があるので、元のデータの訂正も確認すべきである。

⑧学校教育課

学校教育課職員から資料に基づき説明があった。

3 2. 緊急メール登録者の拡大

委員：登録数は、保護者1人につき1件と数えているのか。

学校教育課：児童の数であるので、両親2人が登録していても児童が1人ならば、1件である。

委員：ほっと情報メールに一本化できないか。

学校教育課：現在のシステムは、リース契約をしている学校運営関係のソフトの1つで、機器も含めたパッケージになっているため金額は削減されず、逆にほっと情報メールに1つ加えると追加料金が発生するため、現時点ではかえってお金がかかる。4年後の契約期間終了の際に一本化を検討したい。

4.4. 学校給食費の収納率の向上

関連質疑なし

5.5. 学校給食センターの維持管理の効率化

委員：民間委託を行うのか。

学校教育課：調理・配送業務の民間委託を行う。献立作成は従来どおり市の業務となる。

委員：建設予定地の土地の契約単価はいくらか。

学校教育課：1平米あたり36,300円の契約である。

委員：建設予定地は市街化調整区域にあるようだが、単価が高く思える。

学校教育課：金額は不動産鑑定士による鑑定評価で算出した額である。

委員：駐車場は多目的利用に供するのか。

学校教育課：土曜や日曜には開放するつもりである。

⑨生涯学習課

生涯学習課職員から資料に基づき説明があった。

8. 図書館における開館日の拡大

委員：開館日を拡大しているが、雇用を増やしているのか。

生涯学習課：パート職員を増やしており、また、再任用職員を昨年度から1人増やした。

委員：来館者と利用者の違いは何か。

生涯学習課：来館者は入口に取り付けたセンサーでカウントした人数で、利用者は本を借りた人数である。

委員：本を購入する基準は何か。また、入れ替えた本はどうするのか。

生涯学習課：市民からの要望や分野別のバランスを考えて購入している。入れ替えた本は、リサイクル本として各学校で引取りや市民への提供を行っている。

委員：他の図書館との差別化ができるような特色付けをしてはどうか。

生涯学習課：来館者に偏りが出てくる可能性があるため、難しいところである。なお、愛知県内では図書館間で本の相互貸借制度があり、利用者の希望をかなえやすくしている。

委員：開館時間の拡大は行うつもりはないか。

生涯学習課：来館者数調査によると午後5時以降の来館者数が少なく、それ以降の時間を延ばしても来館者の増は見込めない。

委員：盗難や紛失問題は多いのか。

生涯学習課：盗難は年間50冊ほどある。紛失や汚損については弁償してもらう。

1 3. 総合体育文化センターへの民間活力の導入

委員：企画提案型のプロポーザルとのことだが、導入後の様子はどのようなか。

生涯学習課：現在、試験的に11のスポーツ教室を始め、今後も年間を通して行っていくと聞いている。教室は、利用予約のない時間に開いている。

1 4. 生涯学習センター指定管理者のモニタリングの活用

関連質疑なし

⑩監査委員事務局

監査委員事務局職員から資料に基づき説明があった。

9. ホームページによる監査結果の公開

委員：「結果の公開＝信頼性が得られた」は飛躍していると思う。

監査委員事務局：表現を検討する。

2 3. 監査結果のデータベース化

関連質疑なし

6 3. 監査手法の標準化

委員：マニュアル化は重要なことなので、早急に進めてほしい。

監査委員事務局：例月出納検査以外のマニュアルも現在作成中である。

⑪行政課

行政課職員から資料に基づき説明があった。

3. 公文書目録のホームページ公開

委員：ボックスファイリングシステムは岩倉市役所に馴染んでいるのか。焦らずに腰を据えて実施してはどうか。

行政課：主に新規職員へのルール徹底が不十分なところはある。昨年度から各課を調査して徹底を図りはじめた。また、ボックスファイリングの運用も導入当初から変わってきており、改めて整理する必要がある。行政の意思決定の経過を後世に残すことは重要と認識している。ボックスファイリングの仕組み自体は優れていると評価している。

1 2. 民間委託等の導入に伴うモニタリングの仕組みと基準等の整理

関連質疑なし

2 1. 保存文書のデジタル化

関連質疑なし

4 5. 未利用財産（土地）の有効活用

委員：平成25年度に売却の実績があるが、購入時の価格より安く売却していないか。

行政課：現時点では赤字になっていない。

4 6. 公共施設における有料広告の導入

関連質疑なし

4 8. 公共施設の適正な維持管理

委員：51番や52番に掲げている公園や橋梁の長寿命化は別計画か。

行政課：公共施設等総合管理計画の策定の際に、計画の一部に組み込むつもりである。

4 9. 市役所庁舎の適正な維持管理

関連質疑なし

5 6. 経常経費等の見直し

関連質疑なし

審議終了に際して

・岩倉市は非常に暮らしやすい街だと思う。このままよい市政を続けていただきたい。

- ・目標の定め方について、もう少し民間的な視点で定めてほしいと感じた計画が多い。
- ・今回の会議で述べた意見が、できるだけ反映されることを期待したい。
- ・それぞれの課が一生懸命計画を実行していることがわかる。
- ・自分としてもよい勉強になった。
- ・他の委員の皆さんの意見からもよい刺激を受けた。
- ・ちゃんとしたデータの量は非常に多いので、後はどのように解析・利用をしていくかが鍵である。
- ・時間の都合上駆け足となった部分もある。テーマや項目を絞るのも1つの方法かもしれない。

午後5時30分終了